

機械技術センターに 大空間冷却システム

大成 ロテック 熱中症対策を強化

大成ロテックは熱中症対策として、埼玉県鴻巣市にある機械技術センターに大空間冷却システムを導入した。「セミドライホッグ」と呼ばれる霧を送風ファンで広範囲に拡散する冷房装置で、周辺温度を3〜5度下げる効果がある。拡散した水分はほとんどが気化するため、保管している機器や整備中の機械などへの悪

影響もないという。

機械技術センターの内部は、大型施工機械を整備するため大空間となっていた。しかし密閉されていたため、作業空間を冷却することが困難という課題があった。システム導入後、作業員からは「作業環境が格段に改善された」との声もあり、システム導入に携わった担当者は「熱中症予

防に大きな力を発揮している」と評価している。



導入したシステム

従来の熱中症対策ではスポットクーラーを設置したり、作業員に送風ジャケットや涼感ヘルメットを配布したりしていた。今年是全国的に記録的な猛暑となり、埼玉県内も高温が続いていることから、新たなシステムの導入を決めた。